



Oral Health Promotion Club in Nara
特定非営利活動法人 オーラルヘルスプロモーションクラブ奈良
〒631-0021 奈良県奈良市鶴舞東町2番10号 TEL.0742-45-4457

OPC 奈良だより

創刊号

代表 田中康正 ご挨拶



昨年の5月に皆様のご支援のもと、NPO法人オーラルヘルスプロモーションクラブ奈良(OPC奈良)を立ち上げることができました。改めて御礼を申し上げます。

さて、この高齢化社会の中で、身の回りを見渡してみますと、病気や災害、貧困など多くの問題があり、支援を求めている方々が多数おられます。

これらに対応するのはまず行政の仕事ではありますが、財政面において年々厳しくなっており、効率性の問題からも十分とは言えないのが現実であります。

しかしながら、これらの社会的問題の解決を、社会を構成する共同体の責任として担える者がその任を果たしていかなばなりません。そんな思いでこの度NPO法人OPC奈良を設立し、その事業の遂行を通じて世の中に役立つ事業の展開を進めております。

改めてこのNPO法人の目的をみてみますと、歯と口の健康・機能の維持増進の研究、調査、普及啓発、支援活動を通じて、人々の健康長寿に寄与するとあります。

具体的な活動計画としては

- 1、多職種が連携する摂食・嚥下についての講習会、実習等の開催
- 1、無歯科医地区での歯科診療、歯科保健活動の支援
- 1、大規模災害時における被災者の健康への支援

を目標として活動を開始しておりますが、これらの事業を円滑に進めるためには、やはり活動資金の問題があります。本法人はまだまだ世間的に認知が進んでいないため資金調達がなかなか難しいことを痛感いたしました。

この法人がしっかりと実績を上げ、その活動にご賛同をいただき、社会的な認知を得ることで、行政からの補助や、有志からの御賛助等が増えるように努力したいと思います。そして事業を継続させ「世の中に役立つこと」を誇りとする法人になるよう全会員一致して努力する所存でございますので、今後ともご支援をお願いいたします。

設立記念講演会

平成26年7月6日(日) 奈良県社会福祉総合センター

平成26年7月6日(日)

奈良県 社会福祉総合センターに於いて
NPO法人 Oral Health Promotion
Club in NARA の設立記念講演会を開催いたしました。

参加者は当日申込の方も多く総数で120名を超える方々に参加して頂きました。

本NPO法人代表の田中康正の挨拶には始まり、御来賓の森下豊樞原市長、加藤久和先生(加藤クリニック院長)にもご挨拶を頂きました。

また記念講演の後のフリートークでは在宅医療を推進する医師や、他府県の歯科医師からも温かい応援をいただきました。



この設立記念講演会に来賓で出席された、地元橿原市の森下市長は「超高齢社会における社会整備を橿原市は抜本的に取り組もうとしているが、こういったNPO法人の力は不可欠です。市としても大いに期待しています」と強いエールを送られました。

また奈良県立医科大学地域医療学講座の松村雅彦教授や神戸常磐大学短期大学部 口腔保健学科 足立 了平教授らから激励のメッセージが届き、市民も含めたたくさんの参加者で熱気にあふれました。

立記念講演会

1th Promotic



森下豊 橿原市長

本NPO法人の設立記念講演会では、講師として、福井県おおい町国民健康保険名田庄診療所長であり、また自治医科大学の臨床教授でもある 中村伸一先生をお招きし、「地域に“寄りそ医”20年」～地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語～と題して武田以知郎理事の座長のもと講演していただきました。

ご講演では、名田庄診療所の医師である中村先生と、その地域の高齢者との関わり、そしてターミナルへと経過していく中での様々な取り組み、それは心と心の繋がりがなければ患者さんの満足が得られない、それこそ“絆”の物語をユーモアを交えながら、そして最後には涙を誘う大変有意義なご講演でした。



中村伸一先生

摂食嚥下講習会 平成26年7月24日(木)

平成26年7月24日(木) 午後6時より、奈良県社会福祉総合センターに於いて、摂食嚥下講習会を開催いたしました。

講師は奈良県言語聴覚士会 会長の松下真一郎先生で、演題は「摂食・嚥下 言語聴覚士の立場から」です。40人余りの参加者があり、席が足りなくなるほどの盛況でした。

衰えた摂食・嚥下機能を回復することは、誤嚥性肺炎の予防のみならず、患者本人のQOLの向上にも役立つ重要なことです。

今回、松下先生は、その学術的理論から実際の介護の臨床にまでわかりやすく解説していただき、とても有意義な講習会となりました。



松下真一郎先生中

在宅訪問医療講演会 平成26年10月23日(木)



河田安浩先生

平成26年10月23日(木)午後6時より、奈良県社会福祉総合センターに於いて、在宅訪問医療講演会を開催いたしました。

講師は、ちゅうわ往診クリニック院長の河田安浩先生で、演題は「在宅医療の限界とそれを変える連携とは？」でした。

地域包括ケアシステムの構築には在宅医療が欠かせないことは明らかですし、多職種連携が大切になってきます。そんな状況の中で、往診専門のクリニックを開設され、24時間体制で患者宅を訪問されている河田先生の貴重なお話をたっぷりとお聞きすることができました。

現在はかなりの範囲で在宅の診療が可能となってきたようで、医療システムが少しずつ変化してきていることを感じ取れました。



口腔ケア実技実習

この事業は、少人数のグループで(できれば同じ事業所の仲間で)参加していただき、遠慮や気おくれすることなく、日ごろの疑問にお答えしたり、実際の口腔ケアの方法を学んでいただくことを目的としています。

平成26年度の第1回は8月25日(月)に榎原市の正田歯科医院に於いて、そして第2回と第3回は11月27日(木)と12月11日(木)に奈良市の野阪歯科医院で開催いたしました。

高齢者、要介護者の食を支え、QOLの向上を目指すために口腔ケアが最も重要であることはよく知られていますが、実際に行うとなると色々な問題、難しさに直面します。この講習会では、在宅の要介護者の方、介護施設に入所されている方、難病で療養されている方等の口腔ケアを行うためのテクニックを経験豊富な歯科衛生士が直接指導し、モデル患者実習、相互実習を通じて飛鳥らの介護、支援にすぐに役立つ内容です。

まず歯科医師から口腔ケア(口腔清掃と機能的ケア)の重要性と、効果のエビデンスの講義が30分程度あり、その後場所を診療室に移して、花谷歯科衛生士が実際の口腔ケアの方法を指導しました。

参加者からは日頃の疑問や苦勞に対する質問が積極的に出され、今までにない有意義な教室となりました。

平成27年度も各地で開催を予定しています。事務局にお問い合わせください。

<ある受講者からの声>

昨日はありがとうございました。

防御エリアに入って実施する意識をもって・・・と教えていただき、とても勉強になりました。試みにブラッシングを子供にしてみると、「もっとして・・・」との反応で、ケアのコツも教えていただき日々のケアに生かしていきたいと思えます。

歯科医の先生や花谷歯科衛生士さんにお世話になりました。今後ともご指導賜りたく、よろしく願いいたします。ありがとうございました。



歯科口腔保健情報交換会 平成26年11月27日(木) 桜井保健所

平成26年11月27日、桜井保健所にて「平成26年度歯科口腔保健情報交換会」が開催されました。桜井保健所が地域在宅医療・包括ケアに関わる多職種の人が、歯科口腔衛生の必要性を理解し、在宅療養者の口腔ケアおよび口腔機能の維持向上を目指して多職種連携による意見交換を目的として、在宅分野では初めて歯科口腔保健に特化して開催したものです。

山田全啓桜井保健所長のご挨拶のあと、当NPO法人の正田農夫副代表から「病院から在宅へ切れ目のない口腔管理および口腔機能の維持・向上について～

多職種連携の推進をめざして～」の基調講演のあと、桜井保健所管内の保健師、看護師、管理栄養士、薬剤師、ケアマネージャー、介護職、介護施設関係者、言語聴覚士、歯科衛生士、歯科医師、行政職、さらに県立医大学生など64名の参加者が8班に分かれてのグループワークが行われました。グループワークのテーマは「患者さんの思いに軸をおいた病院から在宅へのシームレスな口腔管理・口腔機能維持の実現」でしたが、正田副代表から具体事例として2情報の提供がありました。

通常各グループでの意見交換のあと、テーブルホスト以外のメンバーが他のテーブルに分散して再度意見交換し、最後に当初のグループで意見集約して発表するというワールドカフェ方式が採用され、多職種の方から口腔ケアに関わる

連携について多様な意見が出ました。

今回、口腔ケアをオーラルマネジメントと表現されておりました。まさしく介護現場ではケアだけでなく連携の上でマネジメントという言葉が当てはまります。介護における口腔ケアの重要性は徐々に浸透し、実際その必要性は増しております。さらなる介護関係者や医師、看護師など多職種の理解と協力が必要です。地域包括ケアシステムにおける課題も随所に見えてきました。



受託事業

吉野郡野迫川村において歯科保健活動始まる

平成26年10月より、野迫川村において本格的に歯科保健活動が開始されました。この活動のきっかけは、平成23年9月の紀伊半島大水害の際、奈良県歯科医師会(田中康正会長:当時)による野迫川村避難所への支援活動でした。その後、本法人メンバーが不定期ですが、これまで北股地区にある仮設住宅において保健指導や義歯の治療を続けてきました。角谷村長の理解と村の期待に応じて、昨秋より毎週木曜日に保健指導を定期的に行うことになりました。野迫川国保診療所所長の切畑屋先生のご好意により、その一室を「歯科相談室」としてお借りして、田中代表、正田副代表が山あいの道を通っています。村では歯科治療を受けるためには和歌山県橋本市まで1日ばかりで通うケースがほとんどで、そのため20年、30年ぶりに口の中を診てもらったと言われる方が結構おられました。今夏に予定される歯科診療所開設まで、まずは歯の大切さを村の皆さんに再認識していただく地道な活動からスタートしています。



切畑屋先生(右)

明日香村「老い方上手教室」

平成26年12月4日(木)、明日香村保健事業(介護予防)の一環として行われている「老い方上手教室」の依頼を受けて、高齢者の口腔ケアの大切さについて講演しました。まだ元気なうちから、お口の機能維持トレーニングを行うことにより健康長寿を目指すというものです。その後、花谷理事ら歯科衛生士によるわかりやすい指導が行われました。



軽費老人ホームでの講話

平成26年12月11日(木)、明日香村越の軽費老人ホーム「明日香楽園」において、「いつまでもおいしく食べるために」と題して、お口の健康の大切さについて、入居者と職員の方々に講話を行いました。そのあと花谷理事の健口体操「アイウベ」体操で皆さんが盛り上がりました。



野迫川村介護予防事業

平成26年12月18日(木)、野迫川村公民館において、本法人が受託した介護予防口腔機能向上事業が行われました。道端に残る雪に加え、お昼過ぎからまた吹雪く悪天候でしたが、村の住民課長、保健師さんの挨拶のあと、本NPO法人の歯科医師の講話と花谷理事の実技指導があり、お元気な高齢者の皆さんが熱心に聞き入っておられました。

第二回目も同じ公民館で平成27年2月26日(木)に行われます。



入会ご案内

「誰もが いつまでも お口から食べられる」本NPO法人はこの目標を掲げて活動しております。ひとりのチカラでは限られていますが、いろんな職種の人たちがチカラを合わせれば、できることがもっとあるはずです。あなたの持っているスキルを私たちと一緒に生かして、社会貢献できれば嬉しいですよネ！多くの皆様のご入会をお待ちしています。

入会金 医師・歯科医師	10000円
以外の方	1000円
年会費	6000円

ホームページもご覧ください
<http://opcna.health-care-site.com/wordpress/>